

学ぶ力を伸ばす！“数値で示す学力アップ”「夢・絆・感謝」でキラリの中中～一生懸命がかっこいい～

学校教育目標

- み 自ら学び
- な 仲間と光り
- み 未来に鍛える



みなみ風

生徒数		
1年生	158	名
2年生	154	名
3年生	151	名
特別支援	19	名
計	482	名

昭和22年(1947年)開校 創立79年目 三郷市立南中学校だより「3月号」令和8年3月2日(月)

春への期待

校長 小堺 正之

暖かな春を思わせる日が増えてきている中、本年度の登校日数も1・2年生は18日、3年生は10日となり、生徒の皆さんはそれぞれのステージに向かって、努力を積み重ねているものと期待しているところです。先週末には埼玉県公立高等学校の入試があり、多くの3年生が希望する進学先を目指して受験してきました。1年生や2年生でインフルエンザ等が増加する中、3年生は学級閉鎖になることもなく、千葉県公立高等学校入試も埼玉県公立高等学校入試も全員が予定通り受験することができました。減多に無いことで、一人一人の感染予防への意識の高さを称賛するとともに各御家庭の御協力に感謝申し上げます。そんな3年生の残り10日間を見ると、改めてその内容の濃さに驚きます。本日から卒業式の練習が始まり、明日は千葉県公立高等学校の合格発表、明後日は3年生を送る会、6日には埼玉県公立高等学校の合格発表、そして来週金曜日には第79回卒業証書授与式と、終わってみるとあっという間のことでしょう。1・2年生もぜひ、そんな3年生の様子を感じ取ってもらい、あっという間にやってくる1年後、2年後に備える心構えをもってもらいたいと願っています。

さて、明日の千葉県公立高等学校の合格発表と6日の埼玉県公立高等学校の合格発表では、受験したすべての3年生が、その高校を第1希望としているはずですが、私もそうでしたが、私は不合格となりました。合格発表の日から、しばらくはやはり大きなマイナス感情が心の中と頭の中に渦巻いていたことを覚えています。私自身、高校入試で大きな挫折を味わいましたが、それがすごく良い経験となり、その後の人生に生きていくと心から思っています。結果だけに一喜一憂するだけでなく、喜びの気持ちも辛い気持ちもすぐに切り替え、これからの人生にまっすぐに目を向けて力強く進んでくれることを願っています。いよいよ11日後に迫った卒業式に向け、卒業生に対する保護者の皆様、担任の先生をはじめとする本校職員、転退職された職員の方々や小学校でお世話になった先生方、在校生や地域の方々の多くの思いが寄せられます。その思いを受け止めながら、卒業生自身も多くの思いを寄せて、次なる道へと大きく踏み出してくれるものと期待しています。残り10日をあらためて今一緒にいる仲間と大切に過ごし、卒業式を通して1・2年生にたくさん素晴らしい伝統を残していくことを期待しています。そして、これから卒業していく3年生の皆さんが何十年ぶりに会おうとも、すぐにその時間を超えて当時に戻り、さらにはきっと何らかの不思議な縁で繋がっていくこともたくさんあるのだらうと思います。また、同級生だけでなく、南中を卒業された先輩方ともどこかで不思議な縁で繋がっていくことがあると思います。何しろ1万5千人を超える南中卒業生ですから。卒業生の皆さん一人一人にとって、南中がたくさんのつながりの舞台になっていくことを期待します。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましても157名の第79回卒業生に多くの思いをお寄せいただきますとともに、卒業後も温かく見守ってくださいますようお願いいたします。

【3月の予定】

1	日	
2	月	
3	火	埼玉県公立追検査
4	水	三送会・3年生租税教室
5	木	中央委員会・5時間授業
6	金	埼玉県公立発表 3年生心と体の安全点検
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	卒業式予行・生徒集会(生活)
11	水	3年生給食終了
12	木	
13	金	卒業式
14	土	
15	日	
16	月	3年臨時休業日
17	火	2年生東京班別行動
18	水	1・2年生保護者会
19	木	給食終了・ふれあいデー 1・2年生心と体の安全点検 吹部スプリングコンサート
20	金	春分の日
21	土	
22	日	
23	月	3時間授業
24	火	3時間授業
25	水	3時間授業・大掃除・45分授業
26	木	修了式
27	金	学年末休業日
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	

【4月の予定】

1	水	春季休業日
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	準備登校
8	水	始業式・入学式
9	木	教科書給与・避難訓練
10	金	南中オリエンテーション・3時間授業
11	土	
12	日	
13	月	4時間授業・給食開始・発育測定
14	火	聴力検査
15	水	新入生歓迎会・部活動紹介 部活動見学
16	木	全校保護者会・5時間授業 前期時間割開始
17	金	専門委員会
18	土	
19	日	
20	月	生徒写真撮影
21	火	部活動見学①
22	水	部活動見学②
23	木	ふれあいデー 3年全国学力・学習状況調査
24	金	生徒集会・1年生総合健診 仮入部①
25	土	
26	日	
27	月	心と体の安全点検・仮入部②
28	火	本入部
29	水	昭和の日
30	木	部活動保護者会

※予定は変更となることがあります。

【新入生向け】ヘルメット販売について

過日開催いたしました令和8年度入学者生徒・保護者説明会におきましてご案内致しました「ヘルメット販売」につきまして、以下に再度ご案内致します。学校での購入を希望される方は以下の日時に本校へお越しください。

【ヘルメット販売日・時間】

3月16日(月)、17日(火)、18日(水)、19日(木)、23日(月)・午後2時～午後3時30分

【販売場所】

南校舎1階生徒玄関前(正門を入れて正面です)

【その他】

説明会資料に同封致しました、青い封筒に必要事項をご記入いただき、2,800円を同封の上、お持ちください。



新入生・保護者説明会



2月17日、令和8年度新入生・保護者説明会を実施しました。当日は、新入生と保護者の方を相手に、生徒会本部の皆さんが南中学校の行事や部活動、学校生活などをスライドで紹介した後、校舎内を案内しました。

新入生の皆さんも期待に胸を膨らませているようでした。令和8年度は138名の新入生を迎える予定です。良き先輩として迎え入れる準備を整えましょう。

学年末テスト



2月6日、9日には3年生で、2月24日、25日には2年生で、学年末テストを行いました。すべての学年にとって1年で最後のテストであるとともに、3年生にとっては受検直前の力試しのテストでした。どの学年も良い緊張感の中でテストに取り組みました。

※1年生はインフルエンザによる学級閉鎖の影響で3月2日・3日の実施となります。

小中連携出前授業



2月25日、南中学校から英語科教員が高州東小学校を訪れ、中学英語の体験授業を行いました。新年度も引き続き、小中連携を進めていきます！

春の火災予防運動

乾燥しているこの時期は火のもとに要注意です。

予防運動の中で住宅用消火器の普及促進も謳われています。この機会に消火器の設置や使用期限の確認等をするのはいかがでしょうか。



3月1日(日)
～3月7日(土)

学校自己評価・学校関係者評価

令和7年度 三郷市学校評価システム 本評価:学校関係者評価シート 南中学校

評価項目	評価項目 No.	質問項目	学校自己評価結果	学校関係者評価結果	学校自己評価についての評価の説明及び学校の考え
組織運営等の状況	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。★	3.30	3.25	校長の学校経営方針の下、保護者・生徒アンケート、各種調査の結果等に基づき、全校的にあがれば学年ごとに教育活動を推進している。学方向上の取組、学校行事等、課題や成果に応じて見直し、全職員で組織的に取り組んでいる。
	2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善)のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっている。	2.85		分掌会を週して振り返りを行っているが、さらに改善が見込まれる取り組みもある。各分掌で何ができるのか、何を目標として実行していくかをきちんと明確にして学期ごとに取組を進めていく。
	3	学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容の重点化を図っている。	3.04		「夢を育む教育」について、必要な場面で指導してきたが、認識が薄かった。県学習の結果をもとに学方向上に重きを置いた研修を充実させている。
	4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職員の共通理解を図り、「夢を育む教育」に組織的に取り組んでいる。★	2.96	3.38	「夢・絆・感謝でキラリの中」を推進すべく、学校行事全般の推進はもろろん、未来の可能性を広げる検定試験対策図書購入、キラリ賞や善行賞への推薦他、様々な表彰の機会を設け、生徒の意欲付けを行った。また、学校だよりや学年通信でこれを広報した。
	5	学校は、教職員の不祥事根絶をするための取組をしている。	3.67		不祥事を根絶すべく、倫理確立委員会を充実させ、教職員の意識向上にもつなげている。毎月の倫理確立委員会の他、打ち合わせ等で情報提供や事例研修を行い、職員の意識の向上を図っている。
	6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組織的に研修に取り組んでいる。	3.33		生徒の学方向上に向け、テスト分析を行い、それに基づいた授業力向上の研修を行った。今後一層、課題意識や指導力を向上するために必要なもの等の議論を重し、計画的・組織的な研修を実施していく。
授業等の状況	7	学校は、ICTを効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組んでいる。	2.85		機種の破壊の他、モニターや電子黒板の不足、生徒用のタブレットの老朽化と、機材等のハード面がプレ一歩となっており、十分に活用できていないことが課題である。その中でも、各教科の教員が提案的な研究授業を実施し、授業改善を行っている。
	8	学校は、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.07		発展的な学習の基礎となる知識や技能の定着について、学年ごとに家庭学習の充実を図っている。また、一つの時間の中で、個に応じた指導の充実を図る積極的な学習に取り組む教員が増えている。教員同士の授業参観週間などを通じ、手法を共有し、充実させていく。
	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」に基づき指導にあたっている。	3.07		学校全体で指導しているものの、授業の開始の挨拶の仕方など、学年間で方法や徹底度に差異がある。なぜあいさつが必要なのか、言葉遣いを正すことが必要なのか等、分りやすく話しながら指導を徹底していく。
	10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。★	2.77	2.88	学年によって大きな違いが生じており、落ち着いた授業とそうでない授業の差がある。教科担当をはじめ、学年・学校として落ち着いた授業を進めるノウハウを共有し、落ち着いた授業に基づく学方向上を進めていく必要がある。
	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進している。★	3.04	3.38	学校司書が学年の取組や時期に応じたおすすぬ図書を用意しており、効果的である。委員会活動を通して読書活動の普及をさらに進めていく。
	12	学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組めるよう指導している。★	2.81	3.13	多くの生徒は本に親しみ、休み時間など本に向かう姿も見られる。学校図書館の開館日には多くの生徒が訪れ、読書を行っている。朝読書をすすめる日が多く、この時間を確保することが課題である。
	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食に関する意識を高めようとしている。	3.00		市から派遣されている栄養教諭により、年に一度、給食時間に各教室で食育指導を行っている。昨年度は栄養教諭が本務校として在籍していたが、本年度は配置がないため、午に家庭科及び保健体育科の授業時間に教科担当教員が授業の中で指導している。
	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。★	3.07	3.00	部活動に取り組む時間は減少しているが、教科指導の中で体を動かす時間もしっかり確保するように授業を計画している。また、昼休みに積極的に外で遊び、体を動かすよう、指導している。
	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育の改善に取り組むとともに道徳教育を積極的に推進している。	2.70		学校行事等、様々な取組と振り返り、道徳の授業を実施できていない場面が多いことが大きな課題である。今後、「学校は生き方・学びが学ぶ場」として、授業時間を確保したうえで、道徳教育推進の取組も充実させる。
	16	学校は、教育活動全体を通して、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成に努めている。	2.85		道徳の授業時間数に課題があるものの、様々な行事や総合的な学習の時間、各教科の指導など、教科横断的に見れば、道徳的な判断力の育成に努められていると考える。道徳の授業を充実させ、知識と体験に基づき道徳的価値を深化統合し、人間教育を推進していく。
	17	学校は、教職員が自ら手本となり、児童生徒に対し規範意識を高める指導を行っている。	3.11		倫理確立委員会や校内研修、校長講話などから、生徒や保護者から信頼を得るための言動を学び、率先垂範して生徒の規範意識を高めるよう、努めている。
	18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。★	3.11	3.00	指導しているものの、あいさつできる生徒とできない生徒がいる。日頃より、地域の方々をはじめ社会との関わりの中で生活できていることについて一層指導を重ねていく。
19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場に応じた言葉遣いができるよう指導している。	2.81		うまく使えない生徒がいる。授業時間をはじめ、学校生活のすべての場面で指導し、全生徒が時と場に応じた言葉遣いができるよう指導していく。	
指導・管理の状況	20	学校は、児童生徒の不登校や問題行動に対し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.07		教育相談部を中心に組織的な対応ができており、担任1人が抱え込まないよう、相談員やSCを含めた学校全体で個々の生徒への対応を検討している。昨年度休みがたった生徒のうち、3名が教室に復帰し、通常通り登校している。
	21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.22		保護者との連携を進め、理解をいっただきながら協力して教育活動にあたっている。理解をいっただきにくいケースにおいては、必要に応じ、警察、児相、こども支援課と情報共有し、指導を受けながら対応している。
	22	学校は、いじめの早期発見、早期対応に努めている。★	3.19	3.00	「やりとり帳」心と体の安全点検を通じ、相談しやすい環境を整えている。学年職員は休み時間も含めできるだけ教室内外の生徒の様子を観察し、必要に応じて家庭に連絡し指導に当たっている。初期対応を大切に対応している。
	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.04		事故発生時の対応マニュアルについては職員室の前面に掲示してある他、詳細は危機管理マニュアルを作成している。また、年度当初及び学校行事の都度、トラブル発生時のマニュアルを確認している。
	24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。★	2.85	3.00	定期的な安全点検の他、毎日の施設設備点検により、優先順位をつけて予算の範囲内で修繕を行っている。安全指導の喫緊の課題は自転車乗り方についてである。命の大切さについて一層指導を充実させる。
	25	学校は、清掃活動や掲示教育に力を入れる等、組織的に環境美化に取り組んでいる。★	2.59	2.63	清掃時間がなかなか確保できず、環境美化については課題である。「環境が人を作る」当番活動により責任感を育む等の観点からも、清掃時間を確保し、その意味を指導していく。
家庭地域との連携状況	26	学校は、組織的に働き方改革を進めている。	2.96		PTAや地域の支援により学校行事では生徒の指導に集中してあたることができた。資料や指導法の共有、分担等を工夫し、一層働き方改革を進めることにより、生徒の学習指導や相談対応などに集中できる体制を整える。
	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。★	3.56	3.75	学校だよりやHPで学校生活の様子を紹介した。特にHPは、ほぼ毎日更新し、生徒が活躍する様子を発信した。今後は、市内一斉の学校公開以外の場でも教育活動を公開する機会を増やし、開かれた学校づくりをさらに推進していく。
	28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校応援団の活用を図っている。★	3.07	3.00	3年生の授業に学校応援団員や保護者に協力いただいたことは非常に効果的であり、大きな支援となった。日頃より「地域に開放された学校」づくりをおこない、協力いただける体制を構築していきたい。
	29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。★	3.07	2.88	保護者の方には、登校指導や学校行事の運営、さらに環境整備で大きな協力をお願いしたい。学校としても、可能な範囲ではあるが、地域やPTA活動に協力していく。